

箸作り

最近ではマイ箸を持っている人をよく見かけます。
竹を上手に削って、自分だけのマイ箸を作りましょう。



ねらいとして考えられるもの

- ・創造力、表現力を高める。
- ・生活、文化を学ぶ。

可能な活動場所

- ・ピロティ、車庫、避難所

所員の指導	対象	月	人数	所要時間	費用
指導可*1	4年生以上	通年	10~60人*2	2時間	50円

団体が準備するもの

軍手（滑り止めのあるもの）、筆記用具

げんきプラザが準備するもの

材料、小刀、紙ヤスリ、作業マット

実施要領

導入

- ① 動機づけ
- ② 安全上の注意（下記「留意点」参照）

準備（1作業台 2~3人程度）

- ① 作業台を準備する。
- ② 小刀人数分、材料（真竹/1膳分）人数分、作業マット人数分、紙ヤスリ人数分、マジック数セ
- ③ 道具は説明後に配布するので、説明作業台の上に準備。

実施

- ① 竹の割れこみに小刀を差し込み、竹を半分に裂く
- ② 竹が太い場合は、なたで太さを調整する。
- ③ 小刀ではしを削っていく
※先が細くなりすぎないように、左右のバランスを見ながら削っていく。
- ③ 大体の形が出来上がったら紙ヤスリで丁寧に仕上げしていく。

片付け

- ① 道具類は入っていたケースに入れ、あった状態に戻す。
- ② 使用した作業台を元あった場所に戻す。
- ③ 下に落ちた木くずやゴミを掃き掃除する。ゴミは掃除用具入れ脇のペール缶へ。

まとめ

- ・ふりかえり
- ・下記参照

留意点

- ① 刃物等、怪我をする道具を使用します。正しい使い方を守って作業して下さい。
- ② なたを使用する際は、利き手でない方の手に軍手を2枚重ねてはめます。なたは振り上げると危険です。割るときには利き手でないほうの手を離してください。
- ③ 材料を押さえる手に軍手を装着し、道具は素手で持つようにしましょう。

③ 後片付けはみんなで協力し、次の団体にも気持ちよく作業をしてもらえるようにしましょう。

指導のポイント・展開のアイデア

- ・細くなりすぎると、強度も落ちますし楊枝みたいになってしまいます。少し太いくらいの方が使い易く、折れにくいです。
- ・竹はしはカビが生えやすいですので、使い終わったら早めに洗い、しっかりと乾燥させることが長持ちの秘訣になります。
- ・口に入れるものなので、竹のささくれやでっぱりがない、滑らかな表面になるように削ると良いです。
- ・みんなで較べあって、炊事や学校で使ってみてもエコに対する意識が高まります。
- ・「葉っぱのハンカチ」と組み合わせて実施することにより、葉っぱのハンカチを箸包みとして使用することができます。

*1 指導可能時間は 9:15~11:45 13:00~17:00 です。指導希望団体が重なる場合等、ご要望に添えない場合や、団体指導者をお願いすることがあります。

*2 60人を超える場合は、2班に分けて実施したり、交代で実施していただく場合もあります。